

# 1年を振り返って

看護学科第44期生 吉田 里恵

「看護師になる」という大きな目標に向かい、多忙ながらも、充実した1年があったという間に過ぎようとしています。私は、社会人の経験を経て准看護師の資格を取得しました。その後、看護師の資格を取得するか、准看護師として働くか、とても悩みました。看護師の資格を取得するには、3年間の継続した努力が必要であると感じていたからです。長い人生を考えれば3年間は、短い期間だと感じる人もいると思いますが、私の中で、この期間はとても長く感じていました。そして、年齢的なことや勉強を続けていけるかなど多くの不安を抱え、決断することができず悩んでいました。しかし、このまま准看護師として就職し、その後、進学しなかったことに後悔する時が来るかもしれないと考え、更に知識を身に付けるためにも学べる環境がある今にチャレンジしてみようと考え、看護学科へ進学する決断をしました。



入学してからは、クラスに馴染めるか、仕事と勉強を両立していけるかなど不安がありました。しかし、一緒に勉強しているクラスメイト達も様々な境遇があることや、不安を抱えながら学校に通っていることを知り、私も頑張っていこうと思えるきっかけになりました。

学校では看護に必要な知識や技術を学ぶことで、具体的に考えることができました。准看護師として病院に勤務し、初めて覚える知識や技術が多く、業務をこなすことで精一杯になる事が多々ありましたが、日々の学習や先輩看護師に支えられて行うことができました。

そして、目の前のことを焦らず丁寧に行うことの大切さを学ぶことができました。

これからも、周囲のサポートに感謝しながら一歩ずつ自分のペースで成長し続けられるように、仕事と学業を両立し、目標を達成する努力をしていきたいと思っています。